

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 2020年8月14日

【四半期会計期間】 第11期第3四半期(自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)

【会社名】 株式会社Amazia

【英訳名】 Amazia, inc.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 佐久間 亮輔

【本店の所在の場所】 東京都渋谷区南平台町2番17号

【電話番号】 03 - 6427 - 8856 (代表)

【事務連絡者氏名】 取締役CFO 神津 光良

【最寄りの連絡場所】 東京都渋谷区南平台町2番17号

【電話番号】 03 - 6427 - 8856 (代表)

【事務連絡者氏名】 取締役CFO 神津 光良

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次		第10期 第3四半期累計期間	第11期 第3四半期累計期間	第10期
会計期間		自 2018年10月1日 至 2019年6月30日	自 2019年10月1日 至 2020年6月30日	自 2018年10月1日 至 2019年9月30日
売上高	(千円)	2,306,709	5,394,084	3,386,580
経常利益	(千円)	296,750	761,193	396,443
四半期(当期)純利益	(千円)	219,235	515,903	303,027
持分法を適用した場合の投資利益	(千円)			
資本金	(千円)	337,399	355,039	338,524
発行済株式総数	(株)	3,311,100	6,704,600	3,314,100
純資産額	(千円)	878,965	1,549,819	965,007
総資産額	(千円)	1,460,675	2,733,912	1,613,255
1株当たり四半期(当期)純利益	(円)	34.10	77.34	46.77
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益	(円)	32.66	74.35	44.96
1株当たり配当額	(円)			
自己資本比率	(%)	60.2	55.4	59.8

回次		第10期 第3四半期会計期間	第11期 第3四半期会計期間
会計期間		自 2019年4月1日 至 2019年6月30日	自 2020年4月1日 至 2020年6月30日
1株当たり四半期純利益	(円)	13.97	23.72

(注) 1. 売上高には、消費税等は含まれておりません。

2. 持分法を適用した場合の投資利益については、関連会社がないため記載しておりません。

3. 2020年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。第10期の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期(当期)純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益を算定しております。

4. 第10期第3四半期累計期間及び第10期の潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益については、当社株式は2018年12月20日に東京証券取引所マザーズ市場に上場しており、新規上場日から第10期第3四半期累計期間末及び第10期末までの平均株価を期中平均株価とみなして算定しております。

5. 1株当たり配当額については、配当を実施していないため、記載しておりません。

2 【事業の内容】

当第3四半期累計期間において、当社において営まれている事業の内容について、重要な変更はありません。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第3四半期累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」について重要な変更はありません。

なお、新型コロナウイルスの感染拡大による事業への影響については、今後も推移状況を注視してまいります。

2 【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期会計期間の末日現在において判断したものであります。

(1) 財政状態及び経営成績の状況

経営成績の分析

当社が属する電子書籍市場規模は、インプレス総合研究所「電子書籍ビジネス調査報告書2019」によると、2018年度で2,826億円と推計され、2017年度の2,241億円から26.1%増加し、2023年度には2018年度の約1.5倍の4,330億円に拡大すると予測されています。また、2018年度のマンガアプリ広告収益市場規模は、167億円と推計され、2017年度の100億円から67.0%増加し、2019年度には2018年度の1.5倍の250億円に拡大すると予測されており、アプリでマンガを楽しむユーザーは、引き続き増加傾向にあります。しかしながら、電子書籍のビジネスモデルの多様化や成熟によって電子書籍市場が徐々に飽和していくことも想定されます。

このような経営環境の中で、当社は「マンガBANG!」の主力コーナーであるプレミアムモデル(注)のコーナーにおいて、旧作を中心にマネタイズを実現することにより、出版社との信頼関係を更に深め、大手出版社の人気作品の配信数を増加することで、引き続き他社サービスとの徹底的な差別化を進めております。

また、新型コロナウイルス感染拡大の影響による広告市況の悪化に伴い、広告収益単価が下落しておりますが、積極的な広告宣伝活動による「マンガBANG!」のMAU(月間アクティブユーザー数)の増加等により、増収・増益となりました。

以上の結果、当第3四半期累計期間の売上高は5,394,084千円(前年同四半期比133.8%増)となりました。利益面については、積極的な広告宣伝を実施したものの売上拡大等により営業利益は770,106千円(前年同四半期比144.2%増)、経常利益は761,193千円(前年同四半期比156.5%増)、四半期純利益は515,903千円(前年同四半期比135.3%増)となりました。

なお、2020年6月中旬に女性向けエンタメアプリ「Palfe」をリリースしましたが、当面はユーザー獲得のための広告宣伝を実施するため、今期における利益貢献は見込んでおりません。

当社はマンガアプリ事業の単一セグメントであるため、セグメント毎の記載はしていません。

(注)プレミアムモデル：基本的なサービスはすべて無料で提供し、一部の機能を有料で提供するビジネスモデル。

財政状態の状況

(資産)

当第3四半期会計期間末における総資産は2,733,912千円となり、前事業年度末に比べ1,120,656千円増加いたしました。これは主に、現金及び預金が483,897千円、売掛金が553,115千円増加したこと等によるものであります。

(負債)

当第3四半期会計期間末における負債合計は1,184,093千円となり、前事業年度末に比べ535,845千円増加いたしました。これは主に、買掛金が183,335千円、未払金が166,196千円、未払法人税等が155,829千円増加したことによるものであります。

(純資産)

当第3四半期会計期間末における純資産は1,549,819千円となり、前事業年度末に比べ584,811千円増加いたしました。これは主に、四半期純利益の計上により利益剰余金が515,903千円増加したことによるものであります。

(2) 経営方針・経営戦略等

当第3四半期累計期間において、当社が定めている経営方針・経営戦略について重要な変更はありません。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期累計期間において、当社が対処すべき課題について重要な変更はありません。

(4) 研究開発活動

該当事項はありません。

(5) 従業員の状況

当第3四半期累計期間において、事業拡大に伴う人員採用を行った結果、当社の従業員数は前事業年度末から7名増加し、23名になりました。

3 【経営上の重要な契約等】

当第3四半期会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	24,000,000
計	24,000,000

【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間 末現在発行数(株) (2020年6月30日)	提出日現在 発行数(株) (2020年8月14日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	6,704,600	6,704,600	東京証券取引所 (マザーズ)	単元株式数は100株であります。
計	6,704,600	6,704,600		

(注) 提出日現在発行数には、2020年8月1日から四半期報告書提出日までの新株予約権の行使により発行された株式数は、含まれておりません。

(2) 【新株予約権等の状況】

【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
2020年4月1日 (注1)	3,346,900	6,693,800		352,609		348,895
2020年4月1日～ 2020年6月30日 (注2)	10,800	6,704,600	2,430	355,039	2,430	351,325

(注) 1. 株式分割(1:2)によるものであります。
2. 新株予約権の行使による増加であります。

(5) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(6) 【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（2020年3月31日）に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

2020年6月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 100		
完全議決権株式(その他)	普通株式 3,344,700	33,447	完全議決権株式であり、株主としての権利内容に何ら限定のない当社における標準となる株式であります。なお、1単元の株式数は100株であります。
単元未満株式	普通株式 2,100		
発行済株式総数	3,346,900		
総株主の議決権		33,447	

(注) 1. 「単元未満株式」欄の普通株式には、自己株式12株が含まれております。

2. 当社は、2020年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っておりますが、上記は当該株式分割前の株式数及び議決権の数を記載しております。

【自己株式等】

2020年6月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
(自己保有株式) 株式会社Amaz ia	東京都渋谷区南平台町2番17号	100		100	0.00
計		100		100	0.00

(注) 当社は、2020年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っておりますが、上記は当該株式分割前の株式数を記載しております。

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4 【経理の状況】

1．四半期財務諸表の作成方法について

当社の四半期財務諸表は、「四半期財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第63号)に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期会計期間(2020年4月1日から2020年6月30日まで)及び第3四半期累計期間(2019年10月1日から2020年6月30日まで)に係る四半期財務諸表について、EY新日本有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。

3．四半期連結財務諸表について

当社は、子会社がありませんので、四半期連結財務諸表を作成しておりません。

1 【四半期財務諸表】

(1) 【四半期貸借対照表】

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年9月30日)	当第3四半期会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	839,783	1,323,680
売掛金	647,888	1,201,003
その他	8,901	30,353
流動資産合計	1,496,573	2,555,037
固定資産		
有形固定資産	13,178	12,609
投資その他の資産		
敷金及び保証金	63,677	84,263
その他	39,826	82,001
投資その他の資産合計	103,503	166,265
固定資産合計	116,682	178,875
資産合計	1,613,255	2,733,912
負債の部		
流動負債		
買掛金	191,313	374,649
1年内返済予定の長期借入金	3,492	3,492
未払金	259,165	425,361
未払法人税等	101,503	257,332
引当金	-	12,725
その他	89,568	109,946
流動負債合計	645,042	1,183,507
固定負債		
長期借入金	3,205	586
固定負債合計	3,205	586
負債合計	648,247	1,184,093
純資産の部		
株主資本		
資本金	338,524	355,039
資本剰余金	334,810	351,325
利益剰余金	291,929	807,833
自己株式	256	256
株主資本合計	965,007	1,513,941
新株予約権	-	35,877
純資産合計	965,007	1,549,819
負債純資産合計	1,613,255	2,733,912

(2) 【四半期損益計算書】

【第3四半期累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自2018年10月1日 至2019年6月30日)	当第3四半期累計期間 (自2019年10月1日 至2020年6月30日)
売上高	2,306,709	5,394,084
売上原価	1,386,082	3,398,818
売上総利益	920,627	1,995,265
販売費及び一般管理費	605,212	1,225,159
営業利益	315,414	770,106
営業外収益		
受取利息	1	5
受取手数料		336
物品売却益	127	
営業外収益合計	129	341
営業外費用		
支払利息	99	61
株式公開費用	6,938	
株式交付費	6,469	132
新株予約権発行費		2,860
為替差損	3,301	6,201
その他	1,983	
営業外費用合計	18,792	9,255
経常利益	296,750	761,193
税引前四半期純利益	296,750	761,193
法人税等	77,515	245,289
四半期純利益	219,235	515,903

【注記事項】

(四半期キャッシュ・フロー計算書関係)

当第 3 四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成していません。なお、第 3 四半期累計期間に係る減価償却費は、次のとおりであります。

	前第 3 四半期累計期間 (自 2018年10月 1 日 至 2019年 6 月30日)	当第 3 四半期累計期間 (自 2019年10月 1 日 至 2020年 6 月30日)
減価償却費	2,354千円	3,707千円

(株主資本等関係)

前第 3 四半期累計期間(自 2018年10月 1 日 至 2019年 6 月30日)

1 . 配当金支払額

該当事項はありません。

2 . 基準日が当第 3 四半期累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第 3 四半期会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

3 . 株主資本の著しい変動

当社は、2018年12月20日付で東京証券取引所マザーズ市場に上場いたしました。当社は株式上場にあたり、2018年12月19日を払込期日とする公募増資により、新株式240,000株の発行を行い、資本金及び資本剰余金がそれぞれ145,728千円増加しております。また、2019年 1 月22日を払込期日とする有償第三者割当増資（オーバーアロットメントによる売出しに関連した第三者割当増資）による新株44,300株の発行により、資本金及び資本準備金がそれぞれ26,898千円増加しております。さらに、新株予約権の行使により、当第 3 四半期累計期間において、資本金及び資本準備金がそれぞれ3,300千円増加しております。

この結果、当第 3 四半期会計期間末において、資本金が337,399千円、資本準備金が333,685千円となっております。

当第 3 四半期累計期間(自 2019年10月 1 日 至 2020年 6 月30日)

1 . 配当金支払額

該当事項はありません。

2 . 基準日が当第 3 四半期累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第 3 四半期会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

3 . 株主資本の著しい変動

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社は、マンガアプリ事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎並びに潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第3四半期累計期間 (自 2018年10月1日 至 2019年6月30日)	当第3四半期累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年6月30日)
(1) 1株当たり四半期純利益金額	34円10銭	77円34銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	219,235	515,903
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	219,235	515,903
普通株式の期中平均株式数(株)	6,429,838	6,670,255
(2) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額	32円66銭	74円35銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益調整額(千円)	-	-
普通株式増加数(株)	281,878	269,024
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前事業年度末から重要な変動があったものの概要	-	第6回新株予約権 新株予約権の数 400個 普通株式 80,000個

(注) 1.当社は、2020年4月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。

2.当社株式は2018年12月20日に東京証券取引所マザーズ市場に上場しており、前第3四半期累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、新規上場日から前第3四半期累計期間の末日までの平均株価を期中平均株価とみなして算定しております。

2 【その他】

該当事項はありません。

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

2020年8月14日

株式会社Amazia
取締役会 御中

EY新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 奥 見 正 浩

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 安 藤 勇

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社Amaziaの2019年10月1日から2020年9月30日までの第11期事業年度の第3四半期会計期間(2020年4月1日から2020年6月30日まで)及び第3四半期累計期間(2019年10月1日から2020年6月30日まで)に係る四半期財務諸表、すなわち、四半期貸借対照表、四半期損益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表の作成基準に準拠して四半期財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社Amaziaの2020年6月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

- (注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。
2. XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。